

(参考様式 4 - 2)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
潟上地区活性化計画 目標達成状況報告書

令和 元年 9月10日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
秋田県	潟上市	潟上地区	平成 20 年度～ 平成 24 年度	平成 20 年度～ 平成 21 年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農林水産物処理 加工施設	米粉用加工施設 (一式 処理量米 900 t /年)		(株) 淡路製粉	

1 目標達成に向けた取組

平成 30 年度 実施方策	<p>生産者においては、出荷団体との協同体制により、早期の種子確保を行い、安定的に供給ができるよう数量確保に努める。</p> <p>また、実需者において、安全な原料を消費者に供給するため、新たな分野を開拓するなど商品開発に取り組みながら需要の増加に努め、本年産米粉用新規需要米の取扱数量を 1 1 2 トンと設定した。</p>
平成 30 年度の 目標値と実績値	<p>生産者において、高齢化による離農、播種前契約の不履行などにより米粉用米の作付者がいない状況となっている。</p> <p>一方、実需者において、消費ユーザーからの原料選択などといった要望にすべては応えることが出来なかったことから、昨年同様、取り引きに苦慮している状況である。</p> <p>そのような中、製菓製パンメーカー向けへの製品の開発や 1 6 種の米粉ミックスなどの新商品の開発・販売に努めながら、仕掛製品の在庫を活用し販売に繋げた結果、平成 3 0 年度の本事業の計画目標 1 1 2 トンに対し、実績は、1 1 4 トンとなっており、目標を達成することが出来た。</p>
所 見	<p>米粉市場においては販売動向の低迷がみられ、その影響により実需者と生産者との播種前契約の不履行など、現状は厳しい状況下にあると捉えている。</p> <p>今後は実需者が求める品種（米粉用に適する品種）へと誘導を推し進め安定した数量が確保出来るように生産者、出荷団体から協力していただき、生産から流通加工販売までの条件を確立したうえで、販路の拡大・開拓などを経営戦略として重視し、広範囲な用途向け商品の開発、消費ユーザーの確保に努めながら充実した農工商連携が図られるよう指導を行っていきたい。</p>

【記入要領】

- ※ 事後評価時に策定した改善計画を添付すること。
- ※ 目標達成予定年度まで毎年度作成し、毎年 9 月末日までに報告すること。
- ※ 達成率等算出根拠（参考様式 4 - 2 添付資料）を必ず添付すること。